

事務事業評価シート

(H.30)No.	1465	(H.29)No.	1465
-----------	------	-----------	------

事務事業名	幼児教育推進体制構築事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	学校教育室	中森 早苗	

会計区分	事業コード	462415
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	教育振興費	
項 教育総務費	(小事業名)	
目 教育振興費	幼児教育推進体制構築事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	1	生きる力を育む教育の推進
	施策	1	学校教育
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)		
保育所(園)、幼稚園、小中学校の連携をより強化するとともに、保育士・幼稚園教職員の資質・能力の向上、名張版の教育課程の策定等により、小1プロブレム等就学時の課題を解決し、小学校教育へ円滑な接続を行います。		
事業内容		
小学校と幼稚園・保育所を巡回する幼児教育アドバイザーを配置し、相互の職員への指導を行います。また、名張版「スタートカリキュラム」を策定し、指導内容・指導方法を明確にするとともに、名張市のめざす小中一貫教育を推進し、就学前1年の幼児をプレ小学生とし、学校体制を前期課程5年、後期課程5年で行う基礎をつくります。		

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)	H.30年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	就学先小学校を月に1~2回訪問し、授業の状況を参観し、保・幼・小のスムーズな接続に向けた指導・助言を行うとともに、名張版「スタートカリキュラム」の改善見直しを行う。同時に幼稚園・保育所教育施設を巡回し、教育内容や指導方法、環境の改善等について指導助言を行う。	幼児教育アドバイザー4名の体制で、月1~2回、就学先小学校の授業状況を参観し、名張版「スタートカリキュラム」の確立を目指す。あわせて幼稚園・保育所(園)教育施設を巡回し、園内リーダーとの連携により、教育内容や指導方法、環境の改善等について指導助言を行う。

H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)
小学校と幼稚園・保育所(園)が連携を深めながら名張版「スタートカリキュラム」に基づく実践を進め、就学前からの連続性のある一貫した教育の実現を図る。	小学校と幼稚園・保育所(園)が連携を深めながら名張版「スタートカリキュラム」に基づく実践を進め、就学前からの連続性のある一貫した教育の実現を図る。	小学校と幼稚園・保育所(園)が連携を深めながら名張版「スタートカリキュラム」に基づく実践を進め、就学前からの連続性のある一貫した教育の実現を図る。

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		2,373千円		2,888千円	0千円	0千円	0千円
内訳(千円)							
国・県支出金		2,373		2,888	0	0	0
地方債							
その他()							
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人工数							
職員		0.17人		0.28人	0.06人	0.06人	0.06人
臨時職員等		0.02人		0.02人			
②概算人件費	0千円	1,294千円	0千円	2,108千円	444千円	444千円	444千円
①+②総事業費	0千円	3,667千円	0千円	4,996千円	444千円	444千円	444千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
名張市では、小中一貫教育(4-5制)の推進とともに、就学前教育と学校教育とのスムーズな接続について研究し、5-5制の教育課程の検討を進める中、本事業を受託し、2年間取り組んできた。平成29年度は、幼児教育アドバイザー2名が、市内幼稚園、保育所(園)、子ども園及び小学校を巡回し、接続期の幼児・児童の状況を把握するとともに、モデル園において、平成28年度に作成した接続期のカリキュラム「しっかりとつなが育ちのバトンカリキュラム」(試行版)の実践・検証を行った。このカリキュラムに基づく実践をさらに広げることにより、連続性のある一貫した教育が実現し、子どもたちに夢を実現する力・社会を拓く力が育まれるものと思われま。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
3年間の国の事業を受託し、幼児教育アドバイザーによる幼・小のスムーズな接続に向けた現状把握とスタートカリキュラム(教育課程)の作成により、5-5制の教育体制の構築をめざします。「しっかりとつなが育ちのバトンカリキュラム」(試行版)に基づく実践を広げるとともに、内容の検証を行い、カリキュラムの完成版を作成します。また、研修会を充実させ、就学前教育と学校教育とのスムーズな接続をめざすため、関係者がさらに連携を深めていくことが必要です。

6. 事務事業の取組に関する市の計画
第二次名張市子ども教育ビジョン ぱりっすくすく計画(第3次)